



2026年3月9日

インフラファンド発行者名
エネクス・インフラ投資法人
代表者名 執行役員 松塚 啓一
(コード番号 9286)

管理会社名
エネクス・アセットマネジメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 松塚 啓一
問合せ先 取締役兼財務経理部長 佐藤 貴一
TEL : 03-4233-8330

保有資産に係る月次発電量実績及び出力制御に関するお知らせ (2026年2月)

エネクス・インフラ投資法人(以下「本投資法人」といいます。)が2026年2月末現在で保有する発電設備の2026年2月の発電量実績及び出力制御につき、以下の通りお知らせいたします。

記

1. 月次発電量実績 (第13期 2025年12月～2026年5月)

2026年5月期						
	物件数	設備容量 (kW)	発電量予測値 (kWh) (注1) (A)	発電量実績値 (kWh) (注2) (B)	差異 (kWh) (B)-(A)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂) (注3)
2025年12月	12	243,490.20	19,581,433	17,926,721	-1,654,712	7,583,003
2026年1月	12	243,490.20	20,886,820	23,929,636	3,042,816	10,122,236
2026年2月	12	243,490.20	22,813,140	20,418,570	-2,394,570	8,637,055
2026年3月						0
2026年4月						0
2026年5月						0
合計	—	—	63,281,393	62,274,927	-1,006,466	26,342,294

(注1) 「発電量予測値」とは、超過確率P(パーセンタイル)50の数値(50%の確率で達成可能と見込まれる数値を意味します。)としてテクニカルレポートの作成者その他の専門家によって算出された発電電力量をいいます。(以下、「発電量予測値(P50)」といいます。)なお、胎内風力発電所に関しましては、稼働率を調整の上算出しています。

(注2) 上記累計発電量は、一般家庭約15,923世帯が1年間に使用する電力量に相当します。
※1世帯平均3,911kWh/年を基に算出(令和5年度家庭部門のCO₂排出実態統計調査)

(注3) CO₂削減量は、各電力会社の調整後排出係数を基に算出したものです。

※環境省ホームページ参考：<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html>

2. 月次発電所別発電量実績

2026年2月						
	物件名称	設備容量 (kW)	発電量予測値 (kWh) (A)	発電量実績値 (kWh) (注4) (B)	差異 (kWh) (B) - (A)	CO ₂ 削減量 (kg-CO ₂)
S-01	高萩太陽光発電所	11,544.00	1,081,526	969,240	-112,286	409,989
S-02	千代田高原太陽光発電所	1,595.28	105,840	119,474	13,634	50,538
S-03	JEN防府太陽光発電所	1,940.64	148,077	174,598	26,521	73,855
S-04	JEN玖珠太陽光発電所	1,007.76	74,880	66,121	-8,759	27,969
S-05	銚田太陽光発電所	24,195.62	1,958,545	1,613,640	-344,905	682,570
S-06	長崎琴海太陽光発電所(注4)	2,661.12	200,475	157,721	-42,754	66,716
S-07	松阪太陽光発電所	98,003.40	7,214,338	7,535,136	320,798	3,187,363
S-08	新城太陽光発電所	1,540.00	126,909	138,886	11,977	58,749
S-09	紋別太陽光発電所(注4)	15,704.64	850,107	76,560	-773,547	32,385
S-10	高崎太陽光発電所A	11,618.64	1,006,434	1,023,264	16,830	432,841
S-11	高崎太陽光発電所B	53,679.10	5,166,684	4,925,280	-241,404	2,083,393
W-01	胎内風力発電所	20,000.00	4,879,325	3,618,650	-1,260,675	1,530,689
合計		243,490.20	22,813,140	20,418,570	-2,394,570	8,637,055

・「発電量実績値」は、千代田高原、防府、玖珠、松阪、紋別、胎内以外は電気事業者の検針票データを基に記載しています。

- (注4) ・電力会社の要請に基づく系統停止等のため、長崎琴海で約3日発電を抑制しております。
 ・紋別では、発電所の制御システムトラブルにより1月13日14時頃よりほぼ発電停止状態でしたが、本報告日現在、一部再稼働(約75%)に向けて準備を進めております。

3. 出力制御の実施について

本投資法人の保有する発電設備に対し以下の通り出力制御が実施されました。2026年1月15日付「決算短信(インフラファンド)」にて公表しました本投資法人の2026年5月期(2025年12月1日~2026年5月31日)の運用状況の予想に関し、本出力制御による影響は極めて軽微であると見込んでいます。

出力制御の対象発電所		稼働停止時間(注5)			
S-04	JEN玖珠太陽光発電所	2026年2月12日	4.5時間	2026年2月19日	3.5時間
		2026年2月15日	4.0時間	2026年2月21日	6.5時間
		2026年2月17日	5.0時間	2026年2月28日	6.5時間
S-06	長崎琴海太陽光発電所(注4)	2026年2月12日	4.5時間	2026年2月21日	6.5時間
		2026年2月15日	4.0時間	2026年2月23日	6.0時間
		2026年2月17日	5.0時間		

- (注5) 出力制御には、送配電事業者からの前日通知に従って発電事業者が発電所現地で手動制御する「オフライン制御」と、送配電事業者が需給状況により適宜遠隔制御する「オンライン制御」があります。また、「オンライン代理制御」は、オフライン制御発電所に対して実施すべき出力制御をオンライン制御可能な発電所が代理で実施し、後日(現時点では3~4か月後)金銭的精算を行う仕組みです。オンライン代理制御は、オンライン制御発電所自身が受ける制御と区別なく行われ、精算額(代理制御量)は事後に計算して決定されます。本投資法人において、現時点でオンライン代理制御による影響度合いは未定ですが、上記の出力制御にはオンライン代理制御が含まれており、後日一定の精算金の受領を見込んでおります。